

日本とフランス語圏が交流する「FESTIVAL TANDEM」と、
北米最大級の音楽フェス「Festival d'été de Québec
(フェスティバル・デテ・ドウ・ケベック)」提携記念！
再びバンドとして本格的に始動する i-dep と、
カナダ・ケベック州の新星、ユベール・ルノワールが共演！

i-dep



日本とフランス語圏の交流コンサート&フェスティバルシリーズ「TANDEM」。その一環として、提携フェスティバルであるカナダ「フェスティバル・デテ・ドウ・ケベック」協力のもと、10年ぶりに再びバンドとして本格的に始動する i-dep と、「フェスティバル・デテ・ドウ・ケベック」の2018年度新人賞を獲得したカナダ・ケベック州出身の新星、ユベール・ルノワールの共演コンサートを開催いたします。メンバーそれぞれのルーツである Electronic music、Jazz、Funk、Bossa Nova をベースに、様々な要素を取り込みオリジナリティあふれるサウンドへと変換し、ポップでありながら唯一無二な世界を描き出し、色褪せることなく更に進化を続ける i-dep と、R&B やグラムロック、プログレ、サイケデリックロック、ジャズなどに影響を受け独自のサウンドを紡ぎ出すユベール・ルノワールの貴重な共演をお見逃しなく！

タイトル：i-dep x Hubert Lenoir (ユベール・ルノワール)

日時：2019年3月8日(金) 開場 18時 / 開演 19時

会場：渋谷区文化総合センター大和田 6階 伝承ホール

住所：150-0031 東京都渋谷区桜丘町 23-21

最寄駅：渋谷駅

チケット：前売 4,000円 / 当日 4,500円(税込)全席自由 / 2月9日(土)10:00 発売開始

※整理番号順のご入場となります。

※未就学児入場不可。

チケットぴあ：<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=1906520> / Pコード 143-813

Peatix：<https://tandem-20190308-densho.peatix.com>

LivePocket：https://t.livepocket.jp/e/20190308_denshohall

お問合せ：ポッションエッズ Tel：03-6459-2212(平日 11～18時)

出演者プロフィール

[i-dep]

2004 年、イタリア IRMA RECORDS よりデビューシングルをワールドリリース。

SXSW や Summer Sonic などの大型音楽フェスにも多数出演し国内外の音楽ファンから高い評価を得る。

2009 年にバンドとしての活動は休止し、i-dep はナカムラヒロシのソロプロジェクトとして多数のアーティストのプロデュースや DJ として活動を継続していた。

バンドとしての活動休止から 10 年目となる 2019 年、オリジナルメンバーが集結し、再びバンドとして本格的に始動。

メンバーそれぞれのルーツである Electronic music、Jazz、Funk、Bossa Nova をベースに、様々な要素を取り込みオリジナリティあふれるサウンドへと変換するスタイルは、ポップでありながら唯一無二な世界を描き出し、色褪せることなく更に進化を続ける。

<http://i-dep.tokyo/>

[Hubert Lenoir(ユベール・ルノワール)]

カナダ・ケベック州出身。カナダだけでなく、フランスでも大注目を浴びるニューカマー。

子供の頃は TV とゲームに夢中になり、また、母親のジュエリーをこっそり身に着けて楽しむ。

高校時代は「変わり者」や「女性的」とからかわれ落ち込むが、じきに仲間ができ、揃ってドノヴァンやブライアン・イーノ、エルトン・ジョンを聴き、女性の服を着て登校する。この頃から、頭の中でメロディが鳴り出す。

そして高校を辞め、工場など様々な仕事を掛け持ちしてストリートライブを始める。

17 歳の頃、兄や友人と「ザ・シーズンズ」を結成。2014 年にファースト・アルバム「パルプ」を発表、評論家や音楽ファンから高く評価され、2 年間の世界ツアーを行う。ザ・シーズンズの成功後も、ユベールは奇抜なストリートライブを続ける。

長いツアーのあと苦悩の 1 年間を過ごし、アルバム「Darlène(ダルレーヌ)」を制作。彼の親友で恋人のノエミ・D・ルクレールによる同名の小説に着想を得たものだ。R&B やグラムロック、プログレ、サイケデリックロック、ジャズなど、彼が影響を受けた音楽が詰まった、新世代のポストモダンオペラと言えるアルバムとなっている。

<http://darlenedarling.com/>

主催：TOKYO TANDEM 実行委員会

企画：ポッションエッズ

制作：ポッションエッズ

協力：ケベック州政府在日事務所 / フェスティバル・デテ・ドウ・ケベック / 有限会社喜喜